

浜トロンボーン フェスティバル 松2025

HAMAMATSU TROMBONE FESTIVAL

2025

5.6火

振替休日

参加
申込
こちら



受付開始 | 9:15
閉会予定 | 18:30

クリエート浜松

JR「浜松駅」より徒歩10分
遠鉄「遠州病院駅」東隣



Ascension Trombone Quartet が
＼ 日本に! 浜松に!! やってくる!!! /

ゲスト

Ascension Trombone Quartet

アセンション・トロンボーン・カルテット

話題騒然の“Ascension Trombone Quartet”が初来日。しかも、浜松が世界初のお披露目公演！今年のフェスは「学ぶ」「聴く」「体感する」をテーマにワールドワイドに開催。この日浜松は、音楽の街、楽器の街、金管の街、いやトロンボーンの街となる。

世界のウォーミングアップ道場

- ①玉木クラス ②コリンクラス
③ニッキークラス ④クリストファークラス

楽器を持参して希望のクラスで
一緒に基礎練をしよう

ホール / ふれあい広場 /
創造活動室 / スタジオ

9:45~10:45

＼合わせの練習を覗いてみよう／

Ascension Trombone Quartet 公開リハーサル

Ascension Trombone Quartet の
貴重なリハーサルを目の前で!!

ホール

11:00~12:00

《別途申込》

ソロ&アンサンブル コンペティション (観覧無料)

なんとゲストの Ascension Trombone Quartet
が審査員!

ホール

13:00~15:00

《別途申込》

学生と一般による 公開オケスタ・ブラスタ (デモ演奏付)

定番のオケスタから今年度の吹奏楽
コンクール課題曲まで、ゲストの
デモンストレーションが聴ける!

ホール

15:15~16:45

＼世界初お披露目!／

Ascension Trombone Quartet によるミニコンサート

(ソロ・カルテット)

詳細は裏面をチェック✓

ホール

17:00~17:40

＼楽器を持って全員集合／

参加者全員による 「76本のトロンボーン」を 大合奏

ホール

17:50~18:00

Time Schedule

受付開始

閉会予定

9:15 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00 18:30

世界のウォーミングアップ道場	9:45-10:45
Ascension Trombone Quartet 公開リハーサル	11:00-12:00
ソロ&アンサンブル コンペティション	13:00-15:00
学生と一般による公開オケスタ・ブラスタ	15:15-16:45
Ascension Trombone Quartet によるミニコンサート	17:00-17:40
参加者全員による「76本のトロンボーン」を大合奏	17:50-18:00
有名メーカーによるトロンボーン展示会&試奏会	10:00-18:30

＼世界のメーカーが大集合／

有名メーカーによる トロンボーン 展示会&試奏会

国内外の有名メーカーが定番から
話題の楽器まで豊富に展示

創造活動室

10:00~18:30

参加費
一先着順一

一般 (50名)
4,000円

高校生以下 (50名)
2,000円

ソロ (10名)
6,000円 (伴奏者依頼 + 5,000円)

アンサンブル (10団体) / オケスタ・ブラスタ (4団体)
4,000円 / 1人

浜松トロンボーン協会

主催・お問い合わせ先：事務局
E-mail info@HamamatsuTRB.com

後援：日本トロンボーン協会 / 静岡県吹奏楽連盟

協賛：グローバル / ビュッフェ・クランポン・ジャパン / 野中貿易 /
ヤマハミュージックジャパン / ドルチェ楽器 / 眞田貿易 /
Glanz Trombone / バルドン楽器

浜松トロンボーンフェスティバル 2025

GUEST PLAYERS



Ascension Trombone Quartet

アセンション・カルテット

玉木優(ソリスト)、コリン・ウィリアムズ(ニューヨークフィル)、ニッキー・アビシ(アメリカ響)、クリストファー・バセット(サンフランシスコ響)の4人によって構成されるこのトロンボーン四重奏団は、2024年夏にアメリカで行われた、サウスイースト・トロンボーン・シンポジウム(STS)での共演を契機に結成されました。「アセンション(Ascension)」とは、「上昇」や「昇進」を意味し、音楽的、精神的な高まりや進歩を追求するとともに、国際的交流の架け橋となることを目指しています。デビューの舞台に選んだのは、日本。普段それぞれ異なる舞台で活動する4人が、一つの空の下で集い、音楽を通じて新たな一歩を踏み出します。

PROFILE

玉木 優

世界各地を舞台に活動続けるソロトロンボーン奏者。兵庫県芦屋市出身。兵庫県立西宮高校音楽科、京都市立芸大を経て渡米。ミシシッピ響首席、ミシシッピ大講師、デュークイン大院助手を務めたのち帰国。小澤征爾監督の東京のオペラの森、サイトウキネンオーケストラに参加。東京佼成ウインドに在籍後、文化庁海外研修制度により渡欧。スイス・ベルン芸大を首席修了後、南デンマークフィルに入団。

2018年、ソリストに転身。これまでに日本、アメリカ、デンマーク、アルゼンチン、イギリス、イタリア、韓国、スイス、スウェーデン、台湾、チェコ、ドイツ、トルコ、ノルウェー、フランス、ブラジル、メキシコなどで活動を展開。S.E.シャイアーズ、Glanz Trombone、公式アーティスト。



島根ふくたまフェス、静岡グランツフェス音楽監督。2024年より大阪芸術大学客員教授。これまでにイアン・パウスフィールド、ピーター・サリヴァン、呉信一、山下浩生の各氏に師事。現在デンマークに在住。

リサイタルツアーとしては、日本主要都市はもちろん、アメリカではジュリアード音楽院やマンハッタン音楽院など、延べ40以上の名門音楽機関を巡った。協奏曲共演としては、日本センチュリー響、日本フィル、大阪芸大ドリームウインド(日本のプロオケ首席奏者で構成)、アルゼンチン・サンタフェ響、ブラジル・バイア連邦大附属管、アメリカ軍楽隊"Pershing's Own"、オオサカシオン、東京佼成ウインド、スーパーストリングスコーペ、Fountain City Brass Bandなどと共演を重ねる。

これまでに"Love and Chaos"(2018)、“Colors for Trombone”(2019)、“Bridges”(2023)、アルバム3タイトルをリリース。また、NHK FM、ドイツ・バイエルン放送BRにて演奏が放送された。

ニッキー・アビシ

ニッキー・アビシはアメリカン交響楽団の第2トロンボーン奏者であり、ニューアルケミートロンボーン四重奏団の創設メンバーです。これまでに、アラバマ交響楽団、コロラド交響楽団、ニューワールド交響楽団で演奏し、ブロードウェイのミュージカルやラジオシティオーケストラでも活動してきました。シャイアーズ社とロングアイランドプラス社のアーティストとしても知られています。ジュリアード音楽院ではジョセフ・アレッシ氏に、ストーニーブルック大学ではマイケル・パウエル氏に師事。また、ペア・プレヴィグ、ワーレン・デック、グレン・ダドソン、イアン・パウスフィールド、トーマス・リッコボノの各氏にも学びました。

あらゆる年齢層を対象に熱心な指導を行っており、彼女のプライベートスタジオでは、トロンボーンの演奏、音楽のキャリア構築、起業精神に関するマスタークラスを開催しています。彼女の生徒たちは、ジュリアード音楽院、ノースウェスタン大学、マンハッタン音楽学校、ニューイングランド音楽院などに進学し、それぞれ刺激的なキャリアを築いています。ニッキーは特許を取得した「エクステンダボーン」の発明者であり、起業家でもあります。エクステンダボーンは、トロンボーン演奏時に最も遠いポジションに誰でも簡単に手が届くようにするツールです。彼女自身が小柄なトロンボーン奏者であったことから、この発想が自身にとってだけでなく、世界中のトロンボーン奏者にも役立つツールとなると考え、発明しました。

家庭では、ニッキーは夫、2人の息子、2匹の猫、1匹の犬と共に暮らしており、趣味は家族でビデオゲームをプレイすることです。



コリン・ウィリアムズ

2014年よりニューヨークフィルハーモニックにて副首席トロンボーン奏者を務める。前職はアトランタ響にて12年、サンアントニオ響にて3年、それぞれ首席奏者を務め、これまでにシカゴ響、ボストン響、フィラデルフィア管、ロサンゼルスフィル、ナショナル響、ヒューストン響などにたびたび客演してきた。アクティブな演奏家と教育者の側面だけではなく、音楽家の健康・ウェルネスの提唱者でもある。アトランタ響時代に、唇の筋肉の激しい損傷に見舞われ、医師より口輪筋の断裂と診断を受ける。この負傷により約一年間のオーケストラ休職と、その後数年に渡る継続する痛みへと続いた。この負傷と回復、メンタルヘルスの道のりが、今日の演奏と指導へのユニークなアプローチへと繋がっている。舞台への帰還の決意とともに、2018年にデビューアルバム"Ash"をリリース。アトランタ響時代、当時の同僚であったビル・トーマスとジョージ・カラシ、コロラド州立大学のブラッド・バルマーとともに設立した「アトランタ・トロンボーン・プロジェクト」の一環として、アルバム"Roadwork"をリリース。このプロジェクトはのちに「サウスウェスト・トロンボーン・シンポジウム(STS)」として、毎年数百人が参加する国際的な音楽祭・ワークショップとして発展。STSのアーティスト名義として、2001年にはアーサー・プレイヤーのスコットランドの釣鐘草のソロパフォーマンス、2016年のアルバム"Legacy"のリリースが挙げられる。ソリストとして、アトランタ響、アメリカ陸軍軍楽隊"Pershing's Own"、アメリカミリタリーアカデミーバンド、ジョージアプラスバンド、アトランタウインドアンサンブル、ジュリアードオーケストラ、ジェームスマディソン大学プラスバンドと協奏曲と共演し、アメリカトロンボーンワークショップやインターナショナルトロンボーンフェスティバルにもデビューを飾った。室内楽奏者としては、アメリカアイランドチェンバーフェスティバル、グランドティーンミュージックフェスティバル、小澤征爾氏指揮のサイトウキネンフェスティバル、シカゴチェンバーミュージシャンズなどに参加。ミネソタ響のダグラス・ライト、ニューヨークフィルのデビッド・フィンレイソン、同じくニューヨークフィルのジョセフ・アレッシの各氏に師事。ニュージャージー州リバーエッジ市在住。トロンボーン奏者で教育者であるニッキー・アビシとの間にもうけた、2人の息子、クリストファーとアレックスとともに暮らしている。

クリストファー・バセットは、2024年よりエサ・ベッカ・サロネンにより任命されたサンフランシスコ交響楽団のバストロンボーン奏者です。これまでに、セントルイス交響楽団、ジャクソンビル交響楽団、サンタフェオペラなどで演奏し、ボストン交響楽団、クリーブランド管弦楽団、デトロイト交響楽団、インディアナポリス交響楽団などでも活躍してきました。ニューイングランド音楽院ではジェームス・マーキー氏に、コロラド州立大学ではブラッド・バルマー氏に師事しました。次世代の音楽家の指導にも力を入れており、ニューメキシコ州で毎年開催されるサウスウェスト・トロンボーン・カンファレンスの創設者でもあります。ゲスト奏者、クリニシャン、ソリストとして世界中で活動しており、アメリカ国内はもちろん、韓国、メキシコ、カナダでも演奏経験があります。今回が日本でのデビューとなります。インディアナ大学やフロリダ大学でも客員講師を務めた実績があります。ソリストとしては、ジョージア州のコースタル交響楽団とともにサクセのトロンボーン協奏曲を演奏したことがあります。現在は、サンフランシスコ音楽院、サウスウェスト・トロンボーン・カンファレンス、サウスイースト・トロンボーン・シンポジウムで講師を務めています。2017年にはツェルマー、ITAクラインハマー、ITAカルテットの各コンクールで優勝し、2016年にはニューイングランド音楽院のトゥアジェー奨学金およびタングルウッド音楽祭奨学金を受けました。アルティメットプラス、エドワーズ、ベックカスタムデザインなどのアーティストとしても知られています。音源作品としては、サンタフェトロンボーンズによる「Tres Amigos」や、2025年にリリース予定のデビューソングCD「In Dreams」などがあります。



クリストファー・バセット

クリストファー・バセットは、2024年よりエサ・ベッカ・サロネンにより任命されたサンフランシスコ交響楽団のバストロンボーン奏者です。これまでに、セントルイス交響楽団、ジャクソンビル交響楽団、サンタフェオペラなどで演奏し、ボストン交響楽団、クリーブランド管弦楽団、デトロイト交響楽団、インディアナポリス交響楽団などでも活躍してきました。ニューイングランド音楽院ではジェームス・マーキー氏に、コロラド州立大学ではブラッド・バルマー氏に師事しました。

次世代の音楽家の指導にも力を入れており、ニューメキシコ州で毎年開催されるサウスウェスト・トロンボーン・カンファレンスの創設者でもあります。ゲスト奏者、クリニシャン、ソリストとして世界中で活動しており、アメリカ国内はもちろん、韓国、メキシコ、カナダでも演奏経験があります。今回が日本での

デビューとなります。インディアナ大学やフロリダ大学でも客員講師を務めた実績があります。ソリストとしては、ジョージア州のコースタル交響楽団とともにサクセのトロンボーン協奏曲を演奏したことがあります。現在は、サンフランシスコ音楽院、サウスウェスト・トロンボーン・カンファレンス、サウスイースト・トロンボーン・シンポジウムで講師を務めています。2017年にはツェルマー、ITAクラインハマー、ITAカルテットの各コンクールで優勝し、2016年にはニューイングランド音楽院のトゥアジェー奨学金およびタングルウッド音楽祭奨学金を受けました。アルティメットプラス、エドワーズ、ベックカスタムデザインなどのアーティストとしても知られています。音源作品としては、サンタフェトロンボーンズによる「Tres Amigos」や、2025年にリリース予定のデビューソングCD「In Dreams」などがあります。